



校長通信

令和6年度20号 令和7年3月17日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《学校アンケートの結果について》

昨年末、保護者の皆様にも協力いただいた学校アンケートの結果を今号で発表します。
(数字は、パーセントで、そう思う・どちらかと言えばそう思うを足したもの。)

		生徒	保護者	教員
(1)	規則正しい生活をしている	82.5	85.2	75.0
(2)	目指す生徒像(学校教育目標)を意識して取り組んでいる。	73.5	67.0	75.0
(3)	思いやりのある学級である(一人一人を大切にしている)	82.4	73.9	87.5
(4)	学校生活が充実している	86.0	84.1	93.8
(5)	命や人権を大切にする教育がおこなわれている	92.8	77.0	93.8
(6)	授業はわかりやすい(授業の工夫・改善をしている)	90.0	71.6	75.0
(7)	授業に真剣に取り組む	87.2	72.7	62.5
(8)	進んであいさつできる	83.5	60.2	75.0
(9)	学校のきまりを守る	91.8	90.9	87.5
(10)	教科以外の活動に積極的に参加	86.6	75.0	68.8
(11)	学校の美化・整理整頓を意識	79.7	33.3	68.8
(12)	相談できる友だち先生がいる(生徒の相談にのっている)	87.9	69.3	93.8
(13)	交通ルール・安全を心がけている(安全教育)	97.6	90.9	100.0
(14)	家庭学習は十分できている	47.3	30.7	33.3
(15)	家庭でよく会話をする(しているようである)	74.0	87.5	81.3
(16)	家庭と学校の連携がとれている	82.5	84.1	100.0
(17)	学校の設備が整備されている	75.7	62.5	68.8
(18)	保護者や地域への情報発信は十分にできている。		63.6	93.8

概ね肯定的回答を得ていますが、相変わらず、家庭学習に関する項目(14)の肯定的回答が、極端に低い結果となりました。これは例年見られる傾向で、ここ数年河北中学校の課題でもあります。教師は、家庭で取り組める課題を工夫すること、生徒はその日授業で学習したことを家庭で復習する習慣を身に付けること、家庭では子どもが学習しやすい環境を整えることが大切かと思えます。ご協力のほど、よろしくお願いします。

《1年生、介護・福祉体験学習をしました！》

3月14日、1年生が介護・福祉体験学習をしました。車いす体験、高齢者体験、妊婦体験、アイマスク体験など、疑似体験を通して、身体が不自由な方や妊婦さんなど、日常生活で、どのような不便を感じているのか、自分たちが今できることは、どのような事なのか考えることが目的です。この体験をする前に、有田中央高校の福祉の先生から、特別授業で福祉について学びました。今後、感じたことや考えたことを個人新聞にしてまとめる学習を行う予定です。

今回の学習を通して、生徒たちが日常生活の中で困っている人に積極的に声をかけ、助け合えるようになるなど、誰もが住みやすい、よりよい社会づくりに貢献しようとする気持ちや資質を育んでくれることを願っています。

《2年生、演劇会を行いました！》

3月14日、2年生が国語科で学んだ太宰治の小説「走れメロス」の劇を披露し、お互いに鑑賞する演劇会を行いました。メロスの衣装やディオニス王の王冠など、小道具も制作し、セリフもしっかり覚えて、登場人物になり切り、とても楽しい演劇会となりました。

困難な状況下でも友情を信じることの大切さを劇を通して表現してくれました。2年生、おつかれさんでした。